

事例研究

2

パン教室がつなぐ、人と地域のサードプレイス

法人名・事業所名

社会福祉法人 和敬会
特別養護老人ホーム なごみの郷

職種／発表者

管理栄養士／加藤美己

■ 取り組んだ課題

社会福祉法人の使命は「地域を良くすること」。しかし実際には、高齢者施設が地域から孤立し、“高齢者のためだけの場所”として存在してしまう傾向がある。「なごみの郷」も地域との関係性を再構築する必要性を感じていた。

そして私たちがめざしたのは、人々が安心して集える“サードプレイス”としての施設像である。

その中でも、地域の未来を担う子どもたちに学びの機会を提供することで、地域づくりをしたいと考えた。そこで、2022年より親子で楽しめる体験学習とサステナブル教育を組み合わせた「親子パン教室」を開始した。自分で粉から捏ねる体験とともに、地域の未来を考えるサステナブル教育を取り入れ、子どもたちが“地域の一員”としての視点を育みながら、施設とつながる機会を創出した。

■ 具体的な取り組み

- 年3回の親子パン教室を11回開催。延べ700名以上が参加。
粉からの生地づくり、成形、デコレーションまでを子どもが主体となって体験。サステナブル講座では毎回テーマを設定し、地域社会を考える内容の講座を実施。
- 地域に開かれたサードプレイス化
「気軽に来られる学びの場」として地域認知を拡大。
- スタッフの巻き込み
オフィススタッフ+現場スタッフが自主的に関わり、準備・運営を協同。
- アクセス面の工夫
一般的なパン教室（5,000～10,000円）に比べ、子ども2名で3,500円と大幅に低価格で提供。
法人が一部費用を投資し、持続的に参加できる形を整えた。

■活動の成果と評価

アンケート（参加者35名／スタッフ16名）から以下の成果が得られた。

● 学び

- ・子どもがサステナブルな視点を持ち始めた（行動変化あり 89.3%）
- ・学びも多く、普段の子供の行動でサステナブルを意識する機会が増えたと感じるなどの声多数

→学びとしての効果を親も認識

● 地域との関係性向上

- ・「施設への印象が良くなった」71.4%
- ・「なごみの郷を身近に感じるようになった」92.9%

→地域における“サードプレイス化”が明確に前進

● リピート参加の理由

- ・「子どもがとても楽しみにしている」89.3%
- ・「スタッフの雰囲気が良い」50%
- ・「親自身も楽しい」67.9%

→参加者の75%がリピーター、新規参加者も100%クチコミ参加。

● スタッフへの効果

- ・「MVVSを体現している活動」100%
- ・「ブランディングに寄与」多数

→法人へのエンゲージメント向上に寄与している。

■今後の課題

パン教室の成果を起点に、より多様な学びの機会を地域に提供する必要がある。未来を担う子どもたちの学びの場、地域の人々にとってのサードプレイスとして、さらに発展させていきたい。



パン教室がつなぐ 人と地域の サードプレイス

社会福祉法人和敬会
特別養護老人ホームなごみの郷
管理栄養士 加藤美己



01 取り組んだ課題と背景

高齢者のためだけの施設になっていないか

私たち社会福祉法人の使命は、
社会を良くすること、地域づくりをすること。
しかし気が付けば高齢者のためだけの施設になりかけていました。
高齢者施設が地域から孤立しやすい原因です。

和敬会のVISION “社会が幸せになる文化を”
私たちは地域のサードプレイス（人々の第3の場所）になり、
地域づくりをしたいと考えました。



01 取り組んだ課題と背景

サードプレイスとは「行きたいと思える場所」

「行かなきゃいけない場所」ではなく、

「行きたいと思える場所」

家庭（第1の場所）でも職場・学校（第2の場所）でもない、

人が自然に集い、安心して過ごせる第3の場所

＜サードプレイスの条件＞

- ・ 社会的平等性
- ・ 感情の共有
- ・ 安心感がある
- ・ 明るい雰囲気
- ・ 常連がいる



01 取り組んだ課題と背景

サードプレイス＝地域を作る？

なごみの郷がサードプレイスになることで、
人が集い、地域とつながる起点が生まれる。

子どもたちが地域を考えることは、
このまちの未来を考えること。

高齢化が進む地域だからこそ次世代を育てる視点が不可欠

子どもへの関わりは未来への投資＝地域づくり

蒲郡市の高齢化率

蒲郡市 29.8%

(愛知県 25.7%)

※蒲郡市第10期高齢者福祉計画・愛知県HPより

→ **愛知県内でも蒲郡市
は高齢化が進む地域**

02 具体的な取り組み概要



なごみの郷 親子パン教室開講

- ・ 年間3回開催
- ・ AM / PM 2クラス（各クラス2時間30分）

⇒ 地域の担い手の育成

⇒ 地域に開かれた場、サードプレイスへ





02 具体的な取り組み概要

パン教室開催の意図

「楽しさ」を入口に、
学びと関係性を自然に生む設計



文科省も推奨している
子供が主体となる
体験学習の場を提供



身近な食文化のパン
手ごねで自ら作ったパンを
食べる喜び
作り手への感謝



地域の未来を担う次世代育成の場
パンを焼いている時間を有効活用！
毎回社会問題をひとつ取上げ
子供たちに講座を開講

⇒法人内で複数名SDGs catalyst資格修了



法人が未来への投資としてサポート
料理教室は高額になりがちのため、
法人で費用を一部負担

02 具体的な取り組み概要

1

《パンを捏ねる》

粉からパンを捏ねる過程を体験。

体験学習の提供。

成形も行うので、個性豊かなパンのできあがり。

2

《サステナブル教育タイム》

パンを焼いている時間に、毎回1つのテーマでサステナブル教育を。未就学児～小学生の年齢層でも身近に感じる内容に特化。

サステナブルクイズは毎回子供たちの楽しみに。

3

《出来立てのパンをアツアツで食べる》

自分が作ったパンがおいしく出来上がる感動を体験。

笑顔いっぱい食べたり写真を取ったり、

親子の時間を提供。

Extra

子供たちが作ったパンにメッセージを付けて利用者様へ直接プレゼント
利用者様が作ったアイテムでパンをデコレーションする体験も



02 具体的な取り組み概要



02 具体的な取り組み概要



02 具体的な取り組み概要

サステナブルな教室へ

参加費は一部法人負担⇔広報費はかけない

参加費の一部は、未来への投資として法人負担をする

その代わりに広報費には費用をかけず、

SNS（Instagramや公式LINE）や

活動に理解いただいた

地域の保育園などへのチラシ配布にて周知

社内スタッフで運営

自主的に運営サポートしてくれるスタッフも



<課題検証>

なごみの郷パン教室を通して、

- I 子供たちへのサステナブル教育の成果があるのか
- II なごみの郷は地域のサードプレイスになりえているのか

→アンケートを通じ効果検証

なお本取り組みは、参加者だけでなく、
関わる職員にも一定の意識変化が見られたため、併せて検証を行った。

<アンケート概要>

- ①2025年11月30日実施のなごみの郷パン教室参加時
パン教室に来ていた大人35名
アンケート方法：GoogleForms使用

- ②2025年11月21日～29日
なごみの郷職員ランダム選出16名
アンケート方法：GoogleForms使用

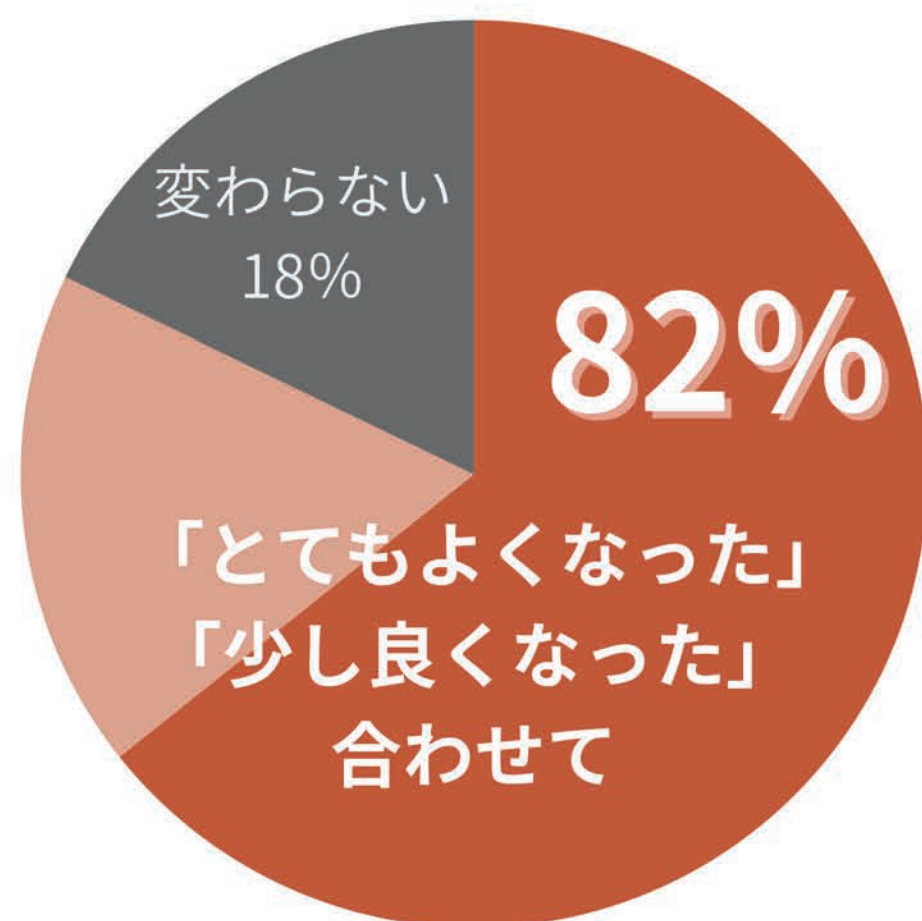
なごみの郷が地域に開かれた場になっている

介護施設に対する印象は参加前と比べてどう変わりましたか？

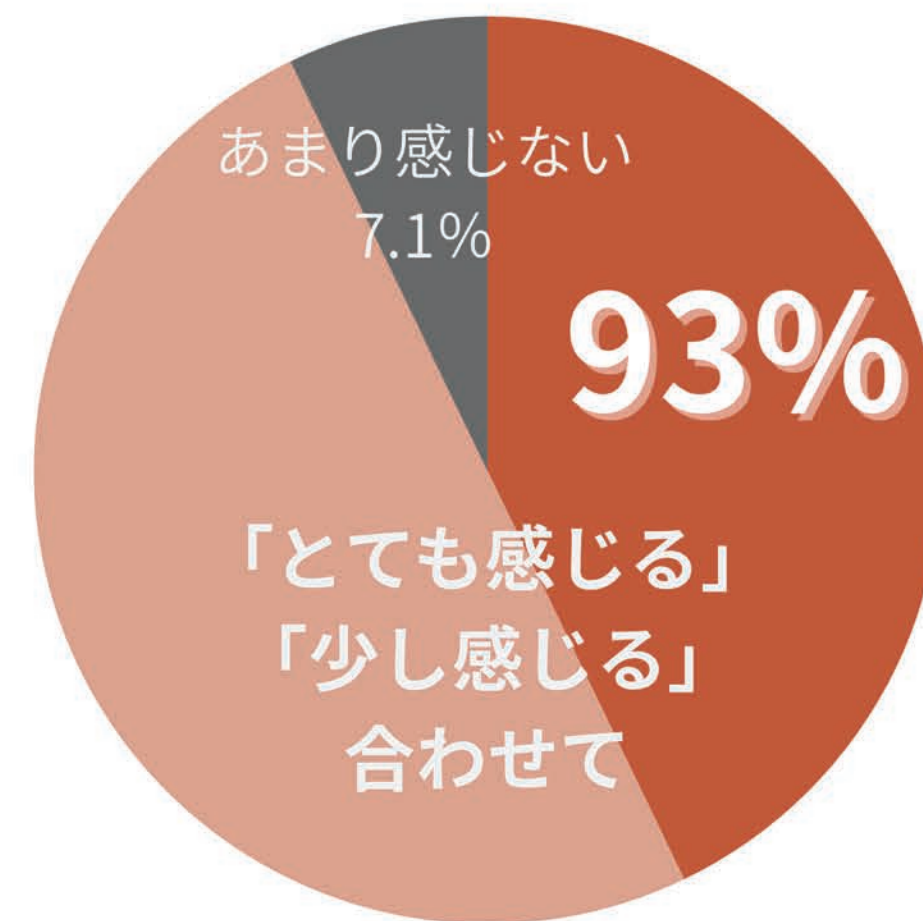
初めての参加の方



リピーターの方



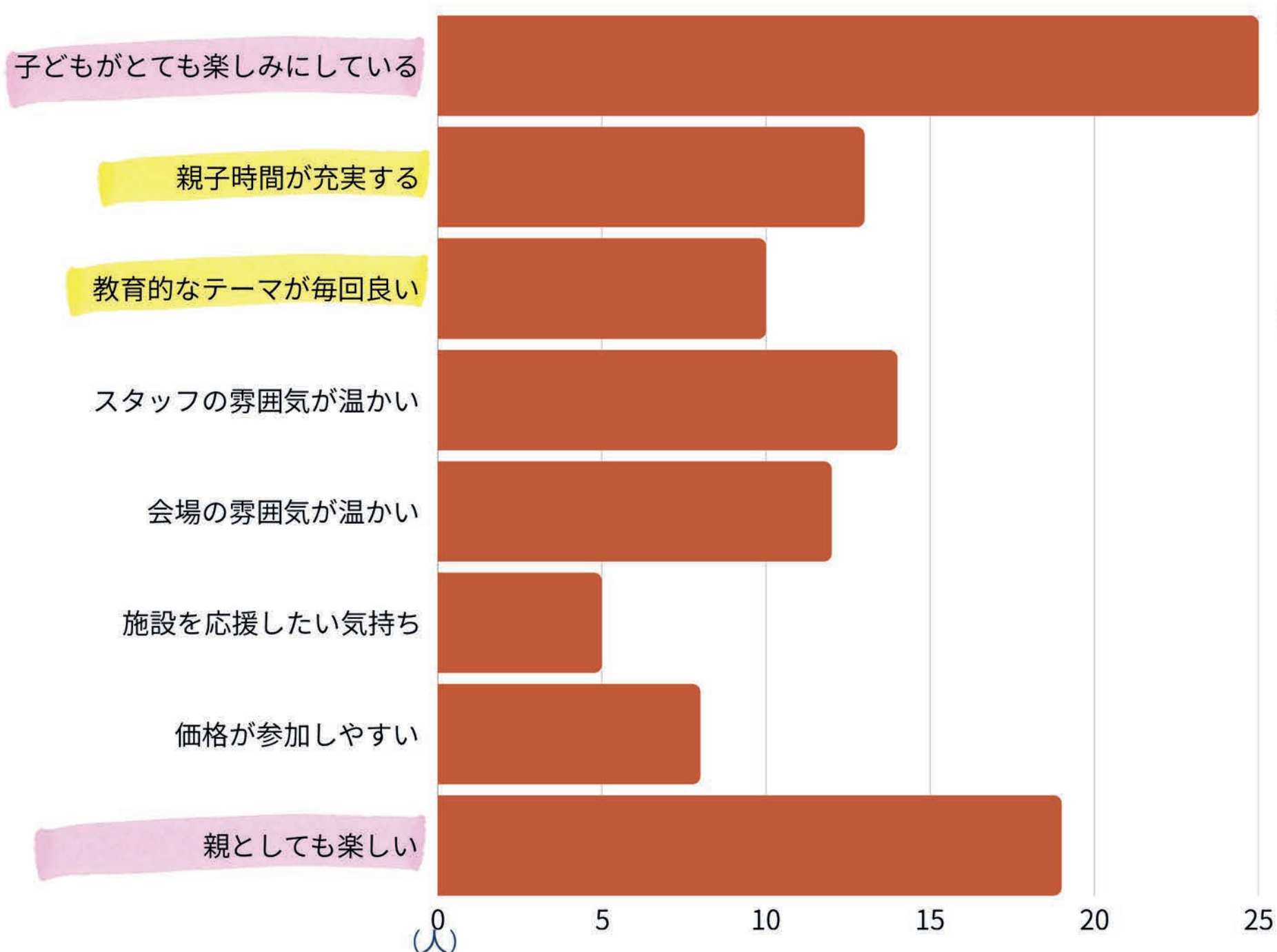
なごみの郷を地域の中でどれくらい身近に感じるようになりましたか？



初参加の方は全員、リピーターの方では82.1%が良くなったと回答⇒介護施設が地域に根付いている
2回以上の参加の方の約93%がなごみの郷を身近に感じるようになったと回答
⇒なごみの郷が生活の中に存在している→サードプレイスになり得ている可能性

親子で楽しみの場＝サードプレイスとしての認知確立

パン教室にリピート参加している理由を教えてください。



①教育の場になり得ている

参加理由の上位には「親子時間が充実する」「教育テーマが良い」が並ぶ

②サードプレイスとして定着し始めている

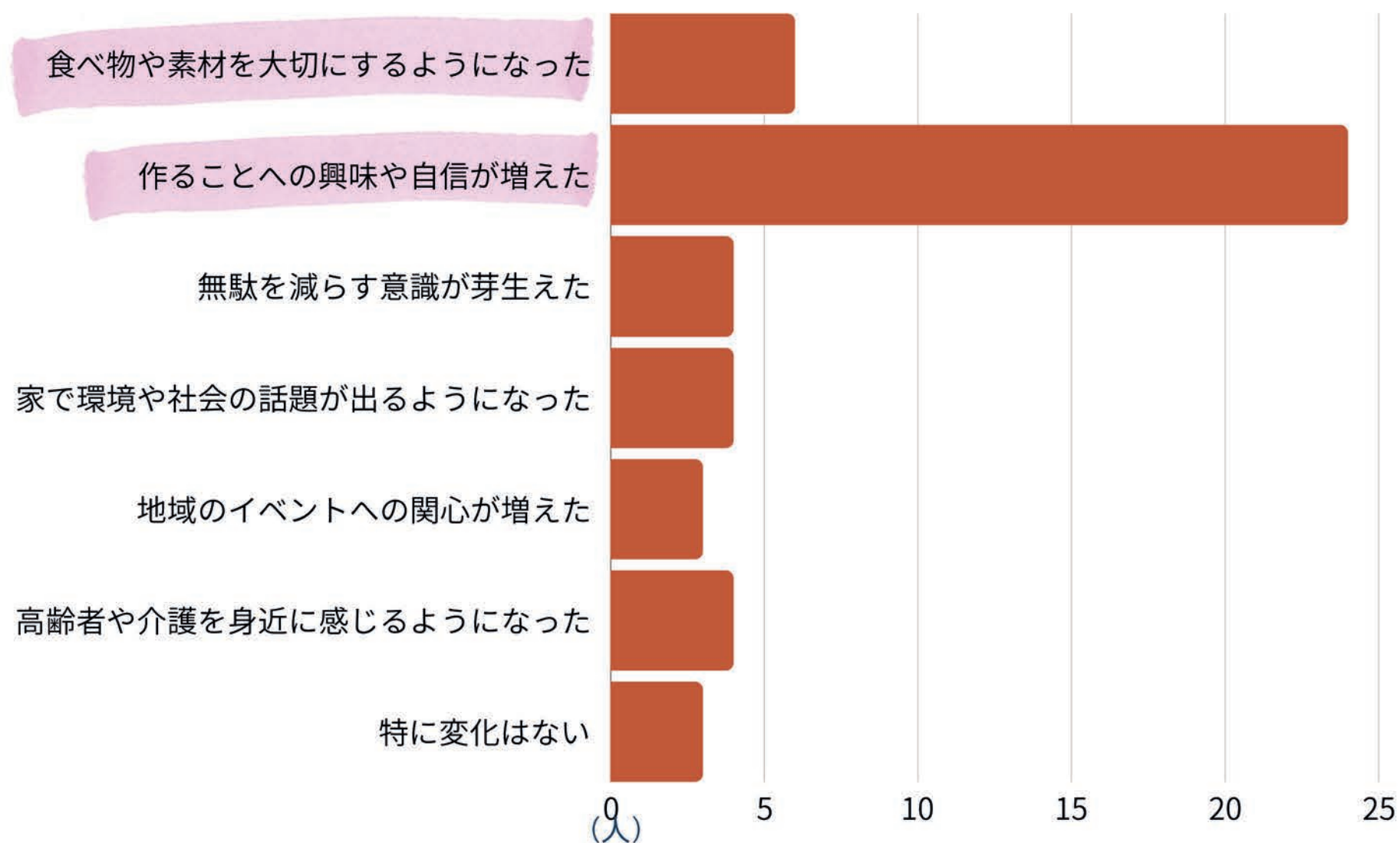
「子どもが楽しみにしている」「親も楽しめる」
＝行きたい場所になっている

⇒サードプレイスとして認知されている

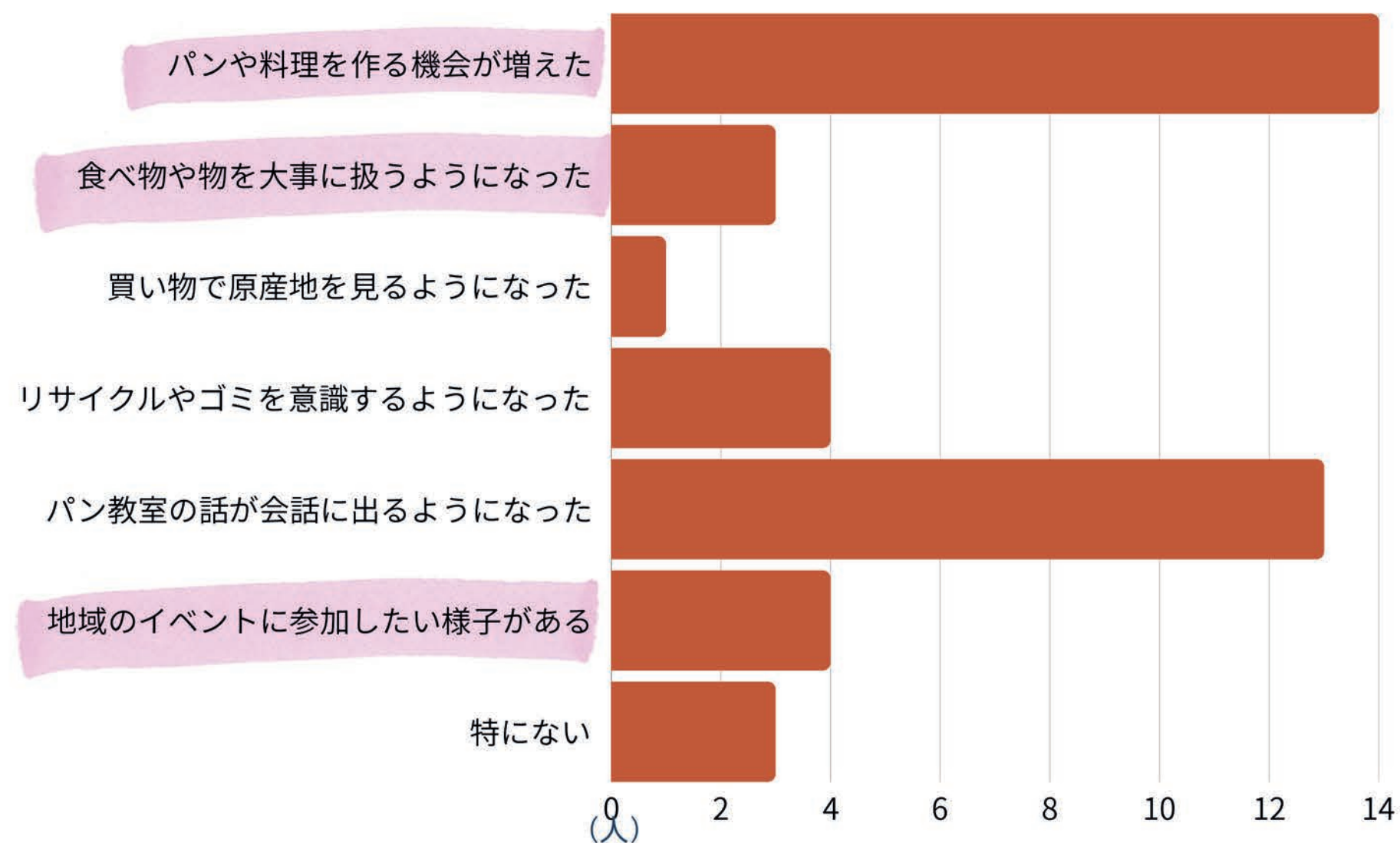
「スタッフの温かさ」「会場の雰囲気が良い」など、
心理的安全性に関わる項目が高く、
地域のサードプレイスとして機能していると評価できる。

学びからの行動変化も実感＝学びの場になり得ている

パン教室を通して感じたことを教えてください



家庭や地域での行動変化はありましたか？



学びを感じ、行動変化も多くみられる。

パン教室は「**学び** → **家庭の行動変化** → **地域とのつながり**」へ拡張する活動

リピーターと口コミの確保＝サードプレイス要素

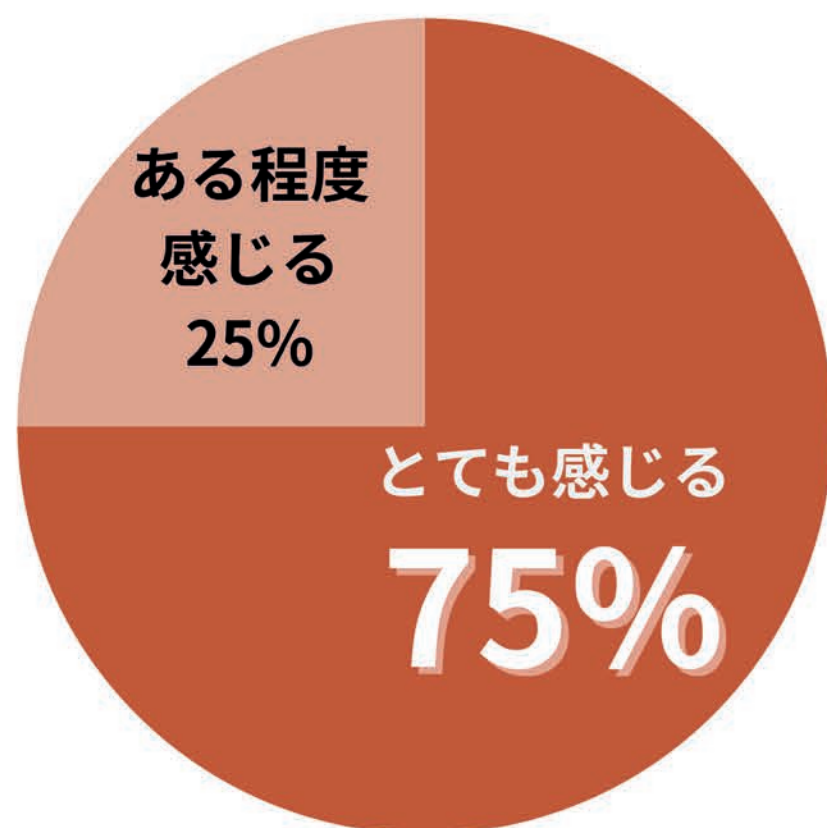
リピート率75%以上！口コミ多数！

第11回開催（2025.11.30）では**75%がリピーター**、**初参加の方全員が口コミからの参加**
⇒**地域に連鎖するイベントになり得ている**

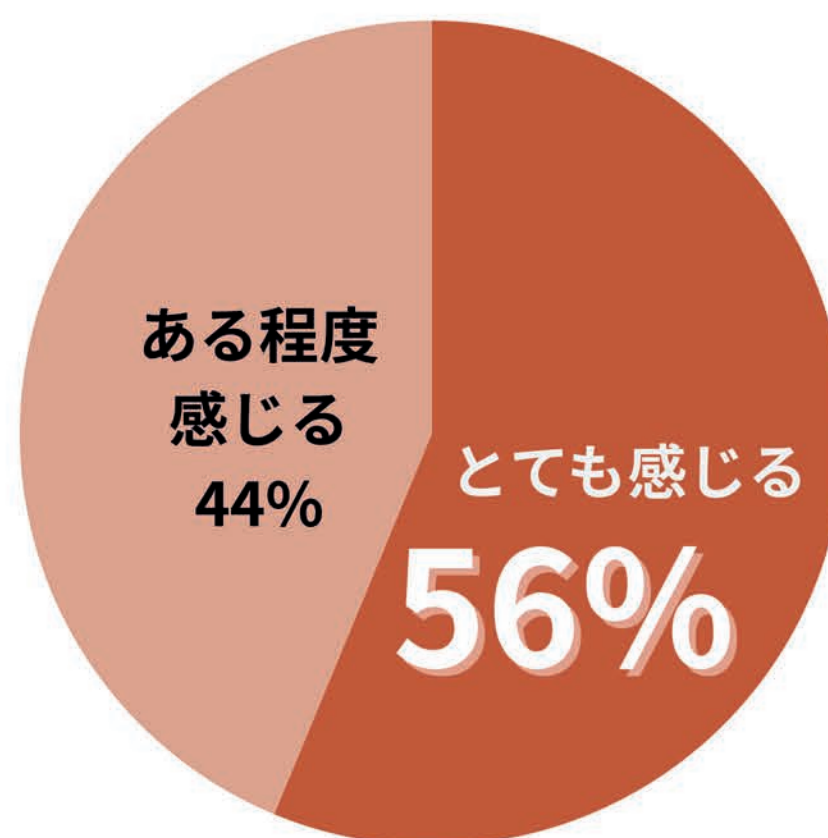
- こんなに素敵な教室を開いてくださり、いつもありがとうございます。争奪戦ですが、次回も参加したいです。
- 以前より捏ねるのがうまくなっているのを感じました。いつも低価格でパン教室を開いてくださり感謝です。
- 粉からの変化に子供たちが夢中になっていました。親子ともに楽しい時間を過ごせました。
- 最後まで一人ですべてやりきることができて、成長を感じました。
- 参加するたびに大人の手伝いも減り、見守りすることが増えたのもうれしい成長です。
- 帰宅してからも利用者さんと触れ合えたことが自然と会話に出ました。
- 毎回家族で楽しみにしています。特に娘は、毎月次はいつ？と聞いてくれます。近くで成長を実感することができます。SDGsの勉強会では、学びも多く、意識する機会も増えました。
- 孫との触れ合いを大事に楽しみに毎回参加しています。

スタッフのエンゲージメントも上げる

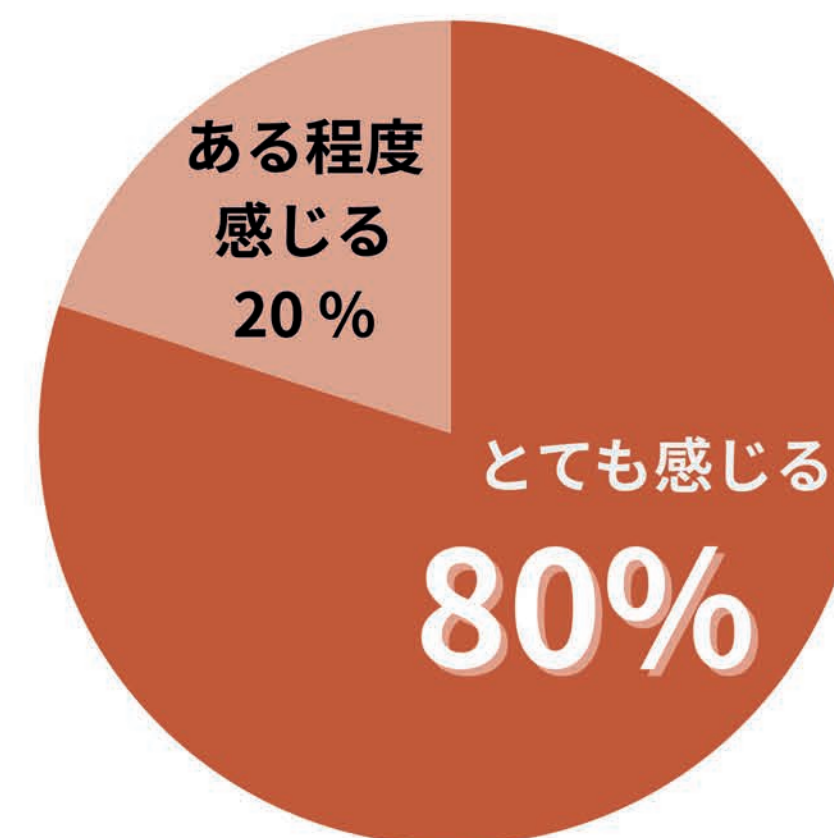
地域との関係づくりに
役立っていると思いますか？



MVVSを体現していると感じますか？



施設のブランドづくりに
影響していると思いますか？



スタッフの全員が「**地域に開かれた施設になった**」「**MVVSを体現している**」と回答。
さらにブランド価値向上にもつながると全員が肯定した。
パン教室は地域向け施策であると同時に、理念浸透と組織文化の強化を促す内部変革の取り組みとなっている。なごみの郷で働けていることに誇りを持つてるとの回答もあった。

パン教室がブランディングにも！



パン教室に娘親子が参加。
スタッフが明るく感じが良かったと聞いて
応募。地域に開かれた施設だと感じ入社。

Message

パン教室の話と機会があり、毎回おに
sold out! 大盛況で予約も取りづらいと。
業多小中、法人のため残り少額が
「おに」のイメージアップで働いている私ほ
うれいである。

- 老人福祉施設が地域の子供たちと交流する機会はなかなかないので、とても良い取り組みだと思う。
- プロの先生や材料の手配をしてくれ、なおかつSDGsを知るきっかけにもなるため、うちの子がもう少し大きくなったら参加してみたい。
- 予約が取れない教室と良い意味で評判なので、貫いてほしいです。
- パン教室を通して、親が介護になって仕方なく関わる場所ではなく、地域の当たり前前資源としてかかわってもらいたい。
- 活動を継続していくことで高齢者施設を皆様に身近に感じていただけたら。
- 地域との素敵な交流の場として、今後も地域と関わっていけたら。

03 取り組みの結果

地域の企業も巻き込むことで、地域活性化を！



竹本油脂株式会社 小野田様



地元企業である、竹本油脂様にも協賛いただき、商品を使用したパンメニューを！また竹本油脂で行われているサステナブル活動をご講演いただきました！

人気パン作りインフルエンサーとコラボレーション

国内最大フォロワー数のパン作りインスタグラマー鈴木あつ子先生も活動にご共感いただき講師として参加！



鈴木あつこ / 失敗しない米粉パン作り

898 投稿 12万 フォロワー 85 フォロー中

YouTube25万人登録！
毎週土曜あさ ライブ (インスタ・YouTube)
■ 新刊11/20「小学生のパンづくりブック」
■ 「まるめてふくら魔法の米粉パン」重版3刷... 続きを読む
🔗 m.youtube.com/channel/UC9...、他2件

@atsupan7

colorfulpan_kids、aibu_saki、他1人がフォローしています

フォロー中 ▼

メッセージ

+8



なごみの郷
パン教室

2.26
SUN

大人気パン作り講師
鈴木あつ子先生登場

甘くてサクフワ！
みんな大好きバターフレキを作ります♪
甘くて外はカリ中はフワフワみんな大好きなバターフレキを作ります！
こんがり香ばしくなかはしっとり、甘くて優しいパンをお届けします。
今回はゲストに大人気の鈴木あつ子先生 (@atsupan7) が登場！



**パン教室は、
地域づくりの「答え」ではなく「入口」**

法人VISIONに掲げる
「社会が幸せになる文化を。」
「人生に安らぎとワクワクを。」を軸に、
サードプレイスとしての可能性を探究し、
地域づくりに挑戦し続けていく。

